

2014年6月18日 全6頁

Indicators Update

5月貿易統計

輸出数量は2ヶ月ぶりに減少、輸入数量も減少が続く

経済分析室
エコノミスト 齋藤勉

[要約]

- 2014年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.7%と15ヶ月ぶりのマイナスとなり、市場コンセンサス（同▲1.3%）を下回った。輸出数量が同▲3.4%と2ヶ月ぶりに前年を下回ったことが減少の主因。輸出金額を季節調整値で見ても、前月比▲1.2%と2ヶ月ぶりの減少となった。
- 輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比▲2.1%と2ヶ月ぶりに減少した。米国向けが同▲4.7%と大きく減少したことが全体を押し下げた。EU向け（同+0.1%）、アジア向け（同+0.9%）に関しては、小幅ながら増加が続いている。
- 5月の輸入金額は、前年比▲3.6%と19ヶ月ぶりに前年を下回った。輸入数量が前年比▲4.0%と大幅に減少したことが主因である。消費税増税後の国内消費の反動減から、4月には輸入数量の減少が見られていたが、5月に入ってもこうした状況は変わっていない。この結果、貿易収支は▲9,090億円の赤字となり、赤字幅は2ヶ月連続で前年を下回った。

図表1：貿易統計の概況（原系列、前年比、%）

	2013年				2014年					5月
	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月		
輸出金額	11.4	18.6	18.4	15.3	9.5	9.8	1.8	5.1	▲2.7	
コンセンサス									▲1.3	
DIR予想									1.5	
輸入金額	16.7	26.3	21.2	24.8	25.1	9.0	18.2	3.4	▲3.6	
輸出数量	▲1.8	4.4	6.2	2.5	▲0.2	5.4	▲2.5	2.0	▲3.4	
価格	13.5	13.6	11.5	12.4	9.7	4.2	4.4	3.0	0.7	
輸入数量	▲2.1	6.4	3.4	4.7	8.0	▲0.5	11.6	▲1.3	▲4.0	
価格	19.2	18.7	17.2	19.1	15.9	9.6	5.9	4.7	0.5	
貿易収支	▲9,432	▲11,004	▲13,011	▲13,072	▲27,950	▲8,047	▲14,507	▲8,117	▲9,090	

(注1) 貿易収支は億円。

(注2) コンセンサスはBloomberg。

(出所) 財務省、Bloombergより大和総研作成

輸出数量は2ヶ月ぶりに減少

2014年5月の貿易統計によると、輸出金額は前年比▲2.7%と15ヶ月ぶりのマイナスとなり、市場コンセンサス（同▲1.3%）を下回った。輸出数量が同▲3.4%と2ヶ月ぶりに前年を下回ったことが減少の主因。輸出金額を季節調整値で見ても、前月比▲1.2%と2ヶ月ぶりの減少となった。

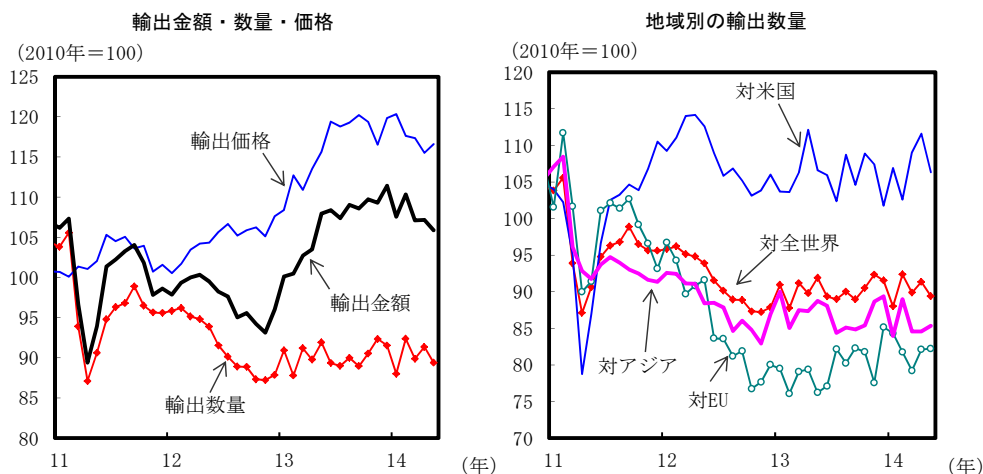
輸出数量指数を季節調整値で見ると（季節調整は大和総研による）、前月比▲2.1%と2ヶ月ぶりに減少した。米国向けが同▲4.7%と大きく減少したことが全体を押し下げた。EU向け（同+0.1%）、アジア向け（同+0.9%）に関しては、小幅ながら増加が続いている。

米国向けでは、自動車の輸出台数の減少が全体を下押しした。ただし、前月増加した反動による減少とみられ、均して見れば緩やかな持ち直し傾向にあるとみている。また、自動車の部品に関しては増加傾向が続いている。EU向けの輸出数量は2ヶ月連続で増加しており、特に自動車輸出台数の回復が顕著である。さらに、電子部品や一般機械などでも増加傾向が見られており、全体を下支えしている。アジア向けでは、不安定な政治情勢が続いているタイ向け輸出の減少が大きい。

海外の需要回復に合わせて輸出数量も持ち直し傾向を強める公算

輸出数量の先行きに関しては、持ち直し傾向が徐々に鮮明となる見込みである。輸出相手別に景気動向を見ると、米国では、堅調な個人消費を背景に景気拡大が続いている。設備投資を中心とする企業部門の回復が本格化すれば、さらに日本からの輸入も増加するとみられる。欧州に関しても、緩やかながら景気は回復傾向を強めている。今後も景気拡大が続くと見込まれることから、EU向けの輸出も増加基調に復する公算が大きい。欧米経済の回復に牽引され、アジア新興国経済も改善ペースを強めていくだろう。中国経済の減速や、タイの政情不安などによる下押し圧力はあるものの、アジア向けに関しても、輸出は徐々に増勢を強めるとみている。

図表2：輸出金額・数量・価格と地域別輸出数量の推移（季節調整値）



(注) 季節調整は「輸出金額」が財務省、他は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

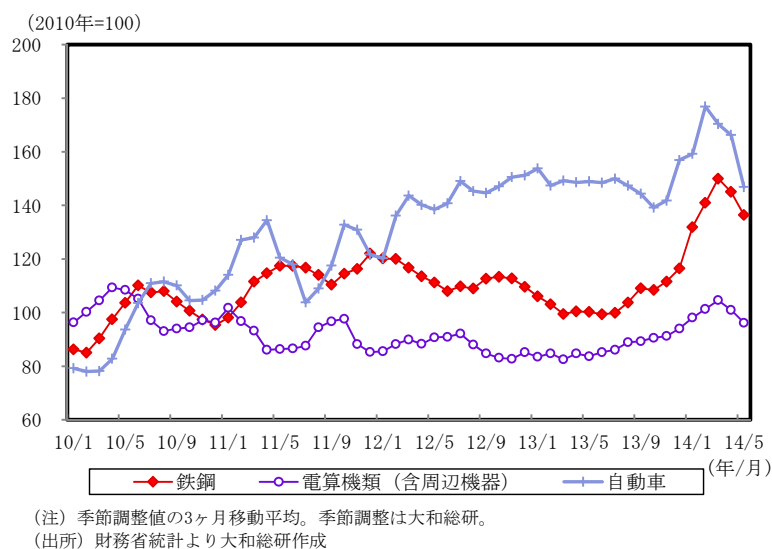
輸入数量は駆け込みの影響剥落で減少が続く

5月の輸入金額は、前年比▲3.6%と19ヶ月ぶりに前年を下回った。輸入数量が前年比▲4.0%と大幅に減少したことが主因である。消費税増税後の国内消費の反動減から、4月には輸入数量の減少が見られていたが、5月に入ってもこうした状況は変わっていない。この結果、貿易収支は▲9,090億円の赤字となり、赤字幅は2ヶ月連続で前年を下回った。

自動車やパソコン、鉄鋼などで輸入数量が顕著に減少

輸入数量を詳細に見ると、消費税増税前に需要が上振れしていた、自動車やパソコンなどの輸入が減少している様子が見て取れる。鉄鋼に関しても、建設用や自動車用で国内需要が大きかったことから、輸入数量の増加が続いていたが、4月以降減少に転じた。4月、5月と減少が続いた結果、輸入数量の水準は駆け込み需要発生前に近づいてきており、輸入の減少傾向は数ヶ月以内に収束する見込みである。その後は、内需の拡大に合わせて、緩やかに輸入の増加が続くとみている。

図表3：各種輸入数量の推移

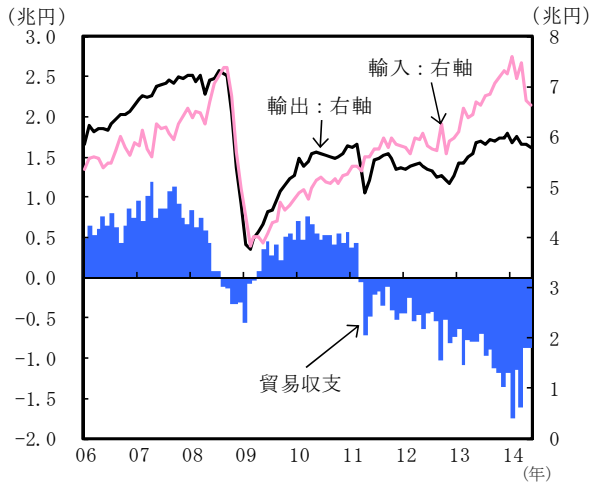


貿易収支赤字幅は徐々に縮小する見込み

貿易収支赤字幅は2ヶ月連続で前年を下回ったものの、貿易収支の黒字化は当面見通せない。ただし、①輸出数量は持ち直していく公算が大きいこと、②輸入数量は内需の拡大に合わせた緩やかな増加が続くことから、貿易収支の赤字幅は縮小傾向が続くと見込んでいる。

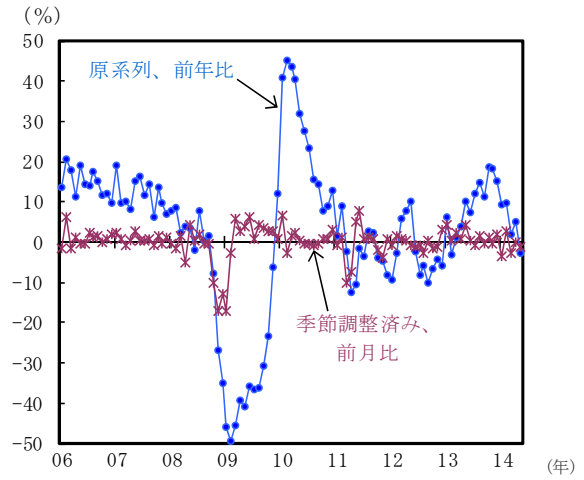
概況

輸出入と貿易収支（名目、季節調整値）

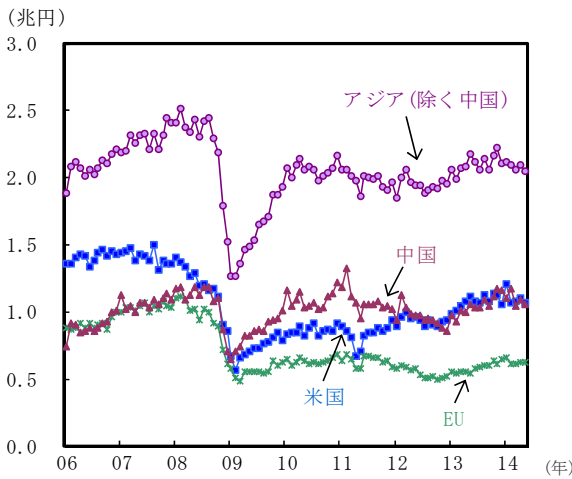


(出所) 財務省統計より大和総研作成

輸出額の変化率（名目）

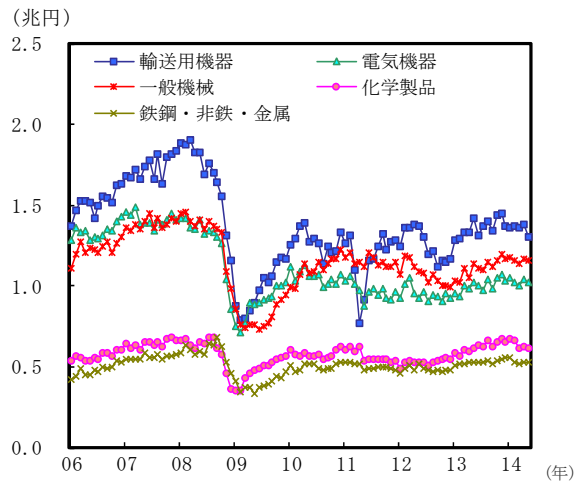


主要地域・国別の輸出額（名目、季節調整値）

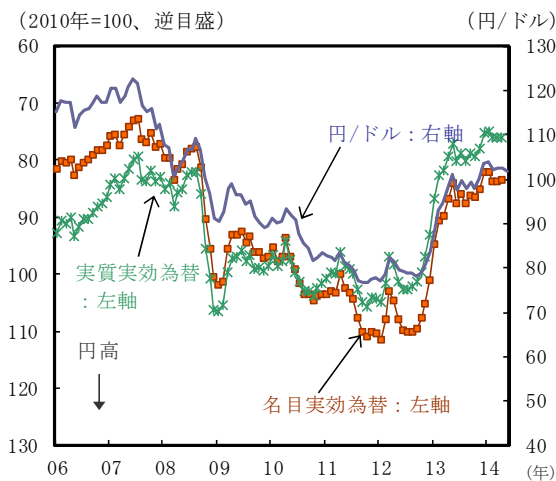


(注) 季節調整は大和総研。
(出所) 財務省統計より大和総研作成

主要商品別の輸出額（名目、季節調整値）

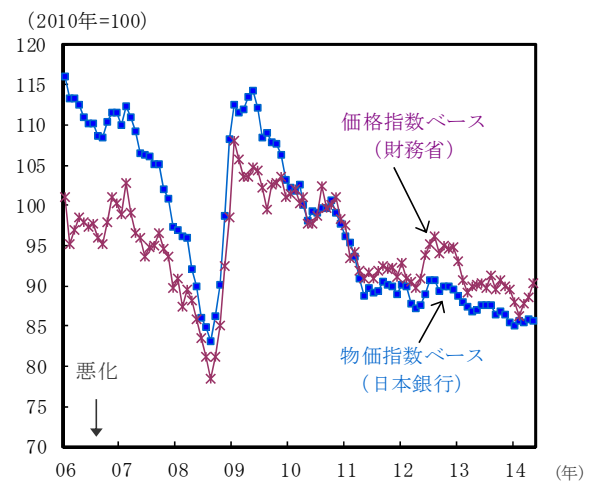


為替相場



(注) 交易条件は、輸出価格指数/輸入価格指数（輸出物価指数/輸入物価指数）。
(出所) 財務省、日本銀行統計より大和総研作成

交易条件



輸出金額 内訳								
	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	15.3	9.5	9.8	1.8	5.1	▲2.7	100.0	▲2.7
食料品	26.8	10.9	20.6	8.5	12.2	1.5	0.7	0.0
原料品	▲0.7	▲4.5	▲8.1	▲17.0	▲10.2	▲6.3	1.8	▲0.1
鉱物性燃料	39.0	54.3	75.9	31.2	13.1	▲45.7	1.7	▲1.4
化学製品	19.9	14.5	16.3	1.5	3.8	0.0	10.9	▲0.0
原料別製品	14.0	7.3	3.4	▲2.4	0.0	▲0.7	14.0	▲0.1
鉄鋼	19.4	14.5	4.2	5.4	▲4.0	▲1.4	5.8	▲0.1
非鉄金属	8.7	▲2.9	▲9.4	▲13.8	1.9	1.4	2.2	0.0
金属製品	12.3	8.7	11.7	▲1.9	12.8	0.9	1.7	0.0
一般機械	17.3	13.6	14.1	2.3	10.8	2.4	19.9	0.5
電気機器	10.9	10.2	10.7	0.4	5.3	0.6	17.6	0.1
半導体等電子部品	6.1	8.1	8.7	▲3.8	1.3	▲5.2	5.1	▲0.3
I C	3.9	5.8	8.0	▲6.1	▲2.1	▲9.0	3.4	▲0.3
映像記録・再生機器	15.0	▲14.5	7.7	▲9.2	▲3.7	▲15.1	0.7	▲0.1
音響・映像機器の部分品	▲0.1	0.2	▲8.6	▲3.2	▲18.3	▲10.0	0.5	▲0.1
電気回路等の機器	8.7	13.8	9.5	▲4.0	7.5	3.9	2.6	0.1
輸送用機器	17.1	6.0	6.6	2.4	4.7	▲7.3	21.2	▲1.6
自動車	18.3	14.0	4.0	9.0	5.1	▲4.3	13.5	▲0.6
自動車の部分品	17.3	7.7	4.7	▲5.6	1.3	▲7.3	4.6	▲0.4
その他	11.7	2.8	4.1	5.4	3.9	▲0.7	12.2	▲0.1
科学光学機器	15.7	10.7	17.5	3.6	15.0	1.8	3.4	0.1

米国向け輸出金額 内訳								
	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	13.0	21.8	5.6	3.6	1.9	▲2.8	100.0	▲2.8
食料品	14.1	33.7	14.1	18.5	28.4	22.0	0.6	0.1
原料品	▲39.5	34.9	28.3	▲12.4	1.5	4.9	0.5	0.0
鉱物性燃料	▲3.1	▲41.9	336.5	682.0	▲29.7	▲96.3	0.1	▲1.7
化学製品	15.5	30.8	4.1	13.2	▲6.0	5.6	5.6	0.3
原料別製品	9.9	17.5	8.9	1.4	▲1.8	8.6	7.8	0.6
鉄鋼	19.1	20.4	14.2	11.5	▲18.8	29.9	2.3	0.5
非鉄金属	40.8	29.0	15.6	10.5	22.7	17.9	0.5	0.1
金属製品	▲7.0	23.8	2.2	▲13.6	2.8	▲5.1	1.7	▲0.1
一般機械	9.9	17.4	6.8	0.2	6.0	5.1	25.1	1.2
電気機器	6.1	20.9	4.8	▲1.1	1.8	0.3	15.3	0.0
半導体等電子部品	▲0.0	15.4	0.7	▲3.9	3.3	▲1.5	2.0	▲0.0
I C	▲1.3	11.6	▲0.2	▲7.0	▲4.6	▲7.7	1.2	▲0.1
映像記録・再生機器	30.3	▲6.9	▲1.8	▲12.5	▲10.6	▲23.7	0.8	▲0.2
音響・映像機器の部分品	27.4	17.7	▲23.7	▲16.2	11.8	▲5.8	0.2	0.0
電気回路等の機器	3.8	25.9	12.7	▲7.1	▲3.6	1.8	1.7	0.0
輸送用機器	14.8	21.0	1.6	6.3	3.1	▲11.1	34.7	▲4.2
自動車	18.6	20.6	▲1.7	7.3	▲0.9	▲18.4	23.1	▲5.1
自動車の部分品	▲3.8	10.2	0.9	▲7.8	5.6	▲0.2	6.8	0.0
その他	32.5	35.8	14.4	4.4	▲2.1	8.6	10.3	0.8
科学光学機器	4.5	10.3	7.5	3.0	▲2.3	▲3.9	2.3	▲0.1

EU向け輸出金額 内訳								
	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	23.1	20.3	13.9	10.2	12.8	14.5	100.0	14.5
食料品	43.7	36.1	28.7	27.7	26.4	8.4	0.3	0.0
原料品	14.6	36.5	▲1.0	▲8.2	▲25.6	▲28.1	0.8	▲0.4
鉱物性燃料	620.8	13.2	337.2	▲78.9	72.0	42.1	0.4	0.1
化学製品	22.5	17.4	11.5	8.1	10.2	9.1	9.3	0.9
原料別製品	5.3	15.1	8.9	2.7	12.3	16.3	7.5	1.2
鉄鋼	▲7.2	66.6	45.1	27.9	▲6.3	41.4	1.1	0.4
非鉄金属	▲31.0	▲45.5	9.4	▲29.8	14.8	22.3	0.8	0.2
金属製品	7.2	14.4	3.6	▲1.9	14.3	8.3	1.4	0.1
一般機械	32.8	24.5	15.1	10.0	12.0	7.4	25.4	2.0
電気機器	20.4	24.1	10.6	7.1	15.0	13.9	19.9	2.8
半導体等電子部品	20.8	25.7	13.7	20.4	33.6	31.4	3.2	0.9
I C	28.3	29.7	17.8	14.2	40.8	43.4	2.1	0.7
映像記録・再生機器	2.4	9.4	9.2	▲22.2	21.5	▲4.7	1.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	7.2	10.3	▲10.7	▲33.7	▲63.5	▲28.9	0.5	▲0.2
電気回路等の機器	21.5	30.0	26.0	7.6	25.8	24.4	2.0	0.4
輸送用機器	29.0	22.6	30.7	25.3	14.7	24.9	20.4	4.6
自動車	56.5	53.7	47.6	83.4	48.9	50.9	13.4	5.2
自動車の部分品	0.7	▲13.5	▲4.0	▲11.3	▲15.1	▲18.1	4.7	▲1.2
その他	11.4	7.2	0.2	11.2	14.2	20.6	16.2	3.2
科学光学機器	20.1	8.8	7.6	▲1.7	15.8	3.3	3.6	0.1

(出所) 財務省統計より大和総研作成

アジア向け輸出金額 内訳								
	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	15.9	5.8	12.5	1.4	3.6	▲3.4	100.0	▲3.4
食料品	28.1	3.0	23.3	5.2	8.9	▲3.0	0.8	0.0
原料品	0.9	▲11.6	▲11.0	▲18.8	▲10.5	▲5.2	2.8	▲0.1
鉱物性燃料	39.6	50.9	73.7	48.3	10.0	▲36.3	2.4	▲1.3
化学製品	18.9	12.5	17.2	▲1.1	4.2	▲1.9	15.0	▲0.3
原料別製品	12.4	3.1	2.4	▲5.0	▲1.4	▲3.3	17.2	▲0.6
鉄鋼	14.0	9.1	1.6	2.7	▲4.1	▲5.8	7.7	▲0.5
非鉄金属	15.2	▲1.9	▲10.0	▲22.0	▲3.7	▲4.2	3.3	▲0.1
金属製品	18.5	3.9	16.4	2.7	11.1	4.5	1.9	0.1
一般機械	17.9	7.4	18.8	5.2	12.1	1.5	18.9	0.3
電気機器	10.9	4.3	12.3	0.3	4.9	▲1.0	21.2	▲0.2
半導体等電子部品	6.1	6.4	9.7	▲5.2	0.0	▲7.1	7.8	▲0.6
I C	3.3	4.2	8.4	▲7.1	▲3.8	▲11.5	5.4	▲0.7
映像記録・再生機器	19.9	▲25.2	15.2	▲2.1	▲8.8	▲14.3	0.6	▲0.1
音響・映像機器の部分品	2.3	5.8	9.5	21.3	▲5.1	▲0.2	0.7	0.0
電気回路等の機器	8.0	9.5	6.7	▲6.3	7.0	2.7	3.5	0.1
輸送用機器	38.4	7.0	17.6	0.5	▲4.6	▲8.3	8.0	▲0.7
自動車	39.9	10.6	27.7	14.6	11.0	8.6	4.0	0.3
自動車の部分品	32.5	4.4	▲1.4	▲9.9	▲5.3	▲9.6	3.5	▲0.4
その他	9.0	▲2.5	5.1	6.3	3.6	▲3.5	13.7	▲0.5
科学光学機器	19.7	11.8	24.5	6.4	17.2	1.4	4.2	0.1

中国向け輸出金額 内訳								
	2013/12	2014/01	2014/02	2014/03	2014/04	2014/05		
	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	前年比%	構成比%	寄与度%pt
総額	34.3	13.1	27.6	4.3	9.7	0.4	100.0	0.4
食料品	46.7	8.8	16.4	8.1	35.5	0.1	0.3	0.0
原料品	▲1.7	▲24.3	▲9.9	▲22.1	▲13.9	▲8.3	3.8	▲0.3
鉱物性燃料	21.8	40.8	▲40.3	▲3.7	33.8	▲54.6	0.8	▲1.0
化学製品	38.0	19.4	24.8	2.6	4.9	▲4.7	15.4	▲0.8
原料別製品	24.7	3.7	19.9	▲2.1	3.5	1.8	14.3	0.3
鉄鋼	55.7	37.6	32.1	27.2	0.4	▲0.3	4.9	0.0
非鉄金属	▲9.7	▲27.7	▲9.0	▲27.6	8.1	7.1	3.1	0.2
金属製品	49.6	14.9	47.1	3.5	14.7	12.2	2.0	0.2
一般機械	43.6	11.1	39.0	6.2	18.8	1.3	19.7	0.3
電気機器	19.8	10.6	20.3	2.8	11.5	5.5	22.6	1.2
半導体等電子部品	▲1.0	6.2	4.5	▲12.8	▲7.4	▲10.0	7.0	▲0.8
I C	▲9.4	1.6	▲2.6	▲19.1	▲14.8	▲15.2	4.7	▲0.8
映像記録・再生機器	34.3	▲38.9	25.6	1.9	▲23.3	▲4.1	0.8	0.0
音響・映像機器の部分品	13.7	9.8	10.5	53.0	9.0	34.7	1.1	0.3
電気回路等の機器	15.4	20.5	19.1	▲2.5	24.9	9.7	3.9	0.3
輸送用機器	120.1	54.7	60.3	24.4	13.1	11.8	9.9	1.0
自動車	162.8	115.7	138.2	61.2	26.0	19.1	4.4	0.7
自動車の部分品	95.9	26.2	18.0	1.3	3.1	5.5	5.2	0.3
その他	23.5	10.4	35.5	8.5	9.5	▲2.0	13.1	▲0.3
科学光学機器	22.6	18.6	40.2	10.3	20.3	4.0	6.6	0.3

(出所) 財務省統計より大和総研作成